



『QCサークル』誌 2026年3月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

表2～

QCサークル本部 本部長 佐々木 眞一さん

長く掲げてきた「ダントツ化を図ろう」という言葉は企業の経営者の方々には伝わり、共感してもらえたように思います。でも実際の活動に取り組む職場第一線の人たちには、なかなか届きにくいのではないかと。そういう意見がQCサークル本部内にもあり、たしかに私もそのように思いました。そこでまずは第一線の人たちに響くスローガンにしようという考え方が、今回見直した背景にあります。QCサークル活動は人財育成面での貢献がとても大きいと、継続的に触れてきて感じます。それともう1つ個人的に意識しているのはチーム力です。

★ザ・ショット 写真で綴るQCサークル紀行

p.3～

㈱技研製作所 高知本社

同社は「工法革命」を旗印に、公害対処企業として1967年に創業した。多彩な工法やシステムを生み出し、今は海外へも事業展開を進めています。QCサークル活動のスタートは2017年と、その歴史だけで見ると長いとはいえませんが、スピード感はめざましく、各部門の部長にQC検定の3級の受検を積極的に進めて合格。QCサークル中国・四国支部の幹事会社に加入して活動を加速させ、社内で問題解決型・課題達成型に取り組む独自のフォーマットを作成するなどの工夫を行っています。

QCサークル活動に取り組む中でTQMの導入も視野に入れ、これまでのモノづくり部門でも活動に留まらず管理・間接部門へと裾野を広げていこうとする動きについてお話をうかがいました。

★特集：人を育てる「優しさ」とは ～「優しさ」と「甘やかし」、その違いを考える～

p.9～

新入社員を迎える時期が近づき、楽しみな反面、接し方や教育に不安を感じる方も少なくないでしょう。3月号の特集では、人を育てる「優しさ」について、「甘やかし」との違いを交えながら考えます。「優しさ」とは、厳しくないことなのでしょうか。それとも、厳しくしないことは「甘やかし」に過ぎないのでしょうか。「優しさ」が込められた人の育成とは、どのようなものなのでしょうか。成長を期待した「優しさ」の本質を伝えたい、そんな「優しさ」に満ちあふれた取組みを紹介していきます。

★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QCサークル活動をより楽しく進めるために～

p.23～

第3回 限られた人・時間・資源、うちにはそんな余裕がない。さあ、どうする？

今年1月号からは、昨年までの「推進者のページ」と「運営のページ」を統合し、推進者およびサークルを対象として皆さんのQCサークル活動に寄り添う記事をお届けしています。前半6月号まではQCサークル活動の困りごとについて、企業事例を加えながら解決策を探ります。また、後半7月号からは課題達成型QCストーリーに沿って仮想サークルの成長物語をステップごとの支援ポイントを紹介していきます。

第3回は「限られた人・時間・資源、うちにはそんな余裕がない。さあ、どうする？」と題し、2社の取組み事例を交えながら、読者のみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

★QCサークル119番～あなたの困りごとへ寄り添います～

p.30～

カルテ119番 改善テーマが見つかりません ネットが底をついてしまったようです。

長くサークル活動を続けるにつれ、テーマがマンネリ化している状況が生まれることがあります。こうした場合の解決の仕方、ポイントを紹介します。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例3件を紹介します。

体験事例：p.33～

1. ジャトコ㈱ 八木工場 「ミステリー1サークル」
「GEAR/OUTPUT 仕上げ工程における設備総合率(OEE)の向上」
2. Astemo㈱ 群馬サイト 「プロジェクトJサークル」
「アンカーバルブ外径端面研削測定における工数の削減」
3. トヨタ生活協同組合 「鮮魚新鮮組サークル」
「～魚屋がつくる極上のうなぎを食卓に～ うなぎの売上アップ」

★ルポ：QCサークル千葉地区研修報告

サークルリーダー養成研修「人生の主導権を自分に取り戻す」

P.46～

2025年11月20日に開催された千葉地区の研修の様子は、受講者の意見や満足度を交えて紹介します。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.48～

イビデン(株) 生産推進本部 IPIA 事業部「なんこつサークル」

新人リーダー育成と実務改善を両立させ、学びと成果を結びつけた取組みです。1 件目のテーマからしっかりと目標を達成し、読者のみなさんにも参考にしていただけたらと思います。今後も挑戦しつづけることを期待します。

★QC検定道場

P.50～

第3回 品質の概念、データの取り方・まとめ方(2)

「QC 検定道場」では、品質管理検定 (QC 検定) 3 級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。2025 年 9 月からコンピュータ受検が導入されるという大きな動きがありましたが、試験内容には変更はないとされています。

3 月号は、2024 年 3 月に実施された第 37 回と 2019 年 9 月に実施された第 28 回品質管理検定 (QC 検定) の 3 級問題を取り上げ、解説しています。「品質の概念」と、前号に続き「データの取り方・まとめ方」について学んでいきましょう。

★連載講座：統計的手法をマスターして仕事に活かそう

p.54～

第3回 検定と推定①

この連載では、「統計的手法をマスターして仕事に活かそう」として、問題解決型 QC ストーリーの基本を掲載していきます。3 月号と 4 月号は、「検定と推定」について学んでいきます。前半となる今回は、仮設検定の考え方や母成分が既知の場合の母平均の検定について取り上げます。職場でのやり取りを例示して、わかりやすく解説しています。

★歴史上の偉人から学ぶ“TQMの実践”

p.62～

偉人の功績やエピソードをもとに、TQM になぞって「こうだろう」と解釈して学びの記事にしています。先月号に続き、織田信長を取り上げて、リーダーシップをあり方について見ていきます。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品の PR の場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail: : editotqm@juse.or.jp

